

インフルエンザ(2026 年第 39 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 39 週の定点当たり報告数は 7.17(患者報告数 26,678)となり、前週の定点当たり報告数 8.48 よりも減少した。都道府県別では沖縄県(42.50)、埼玉県(14.17)、茨城県(12.50)、愛知県(12.33)、岐阜県(10.18)、千葉県(9.76)、東京都(9.51)、神奈川県(8.59)、静岡県(7.44)、長崎県(7.34)、鹿児島県(6.82)、福島県(6.79)、福岡県(6.44)、新潟県(6.29)、秋田県(6.16)の順となった。全国 47 都道府県中、19 都道府県では前週の報告数よりも増加し、28 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 859 例であり、前週(752 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(26 例)、1～4 歳(102 例)、5～9 歳(102 例)、10 代(52 例)、20 代(15 例)、30 代(12 例)、40 代(12 例)、50 代(33 例)、60 代(82 例)、70 代(150 例)、80 歳以上(273 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 35 週～2026 年第 39 週)では、AH1pdm09 が 110 件(98%)、AH3 亜型が 2 件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。